

第七次中井町総合計画

総合計画策定に向けた中井町職員に対する 研修と今後の取組

2024年12月24日

中井町企画課

日本電気株式会社

1. 職員研修の実施

Point データを踏まえた政策立案手法に関する職員向けの研修を実施。

各課班長級を対象として、アンケート等のデータを踏まえた政策立案に関する研修を実施した。

実施期間 : 2024年12月19日(木)

対象者 : 中井町役場の各課班長級 21名

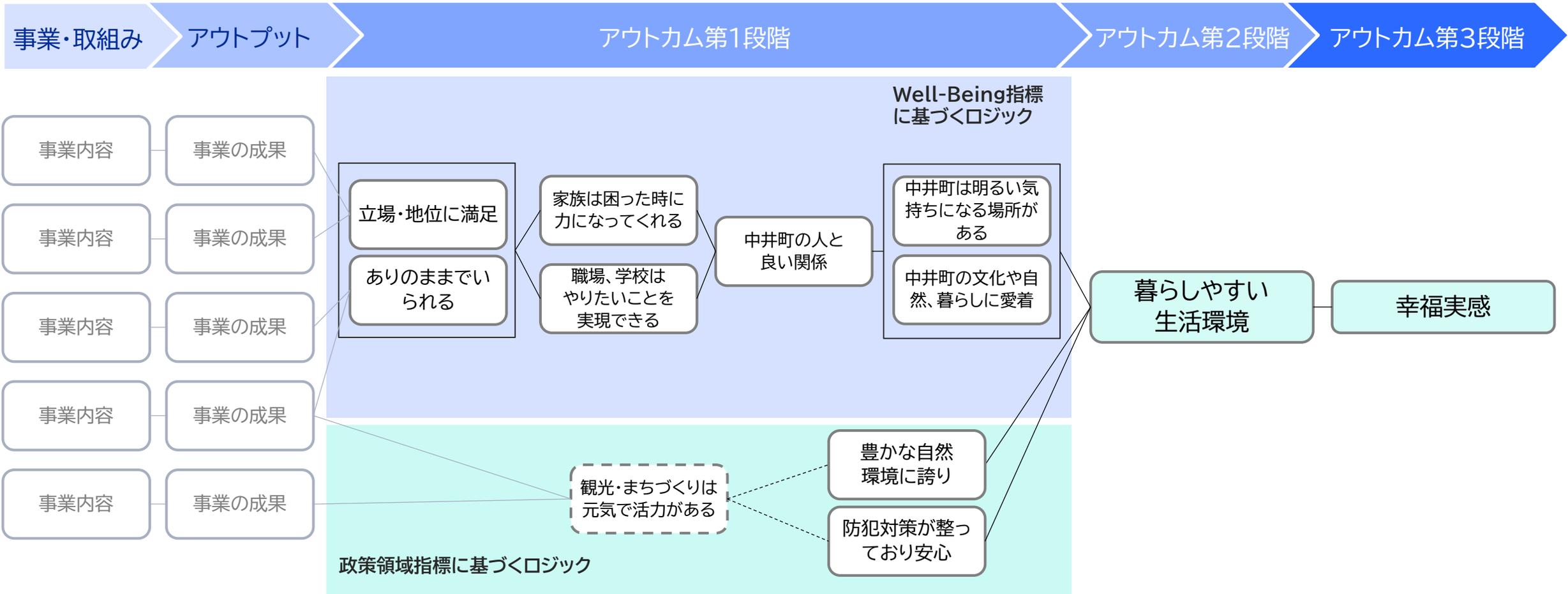
狙い : ウェルビーイングに関するアンケート等のデータを踏まえたロジックモデル仮説に対する具体的な課題や政策立案に関する手法の理解と、政策立案手法を踏まえた各課に対するヒアリング実施に関する作業の依頼

1. 研修スケジュール

時間	実施内容	
14:00~14:10	導入	<ul style="list-style-type: none"> 趣旨説明とチェックイン(10分)
14:10~15:00	リサーチ結果並びにロジックモデル作成に関するインプット	<ul style="list-style-type: none"> 町民に対するアンケート調査の結果と分析結果を踏まえた町民WSの説明 アンケート分析から得られたロジックモデルに関する説明 質疑応答
~15:10		休憩(10分)
15:10~16:10	ロジックモデルを基に課題を深掘りし、解決策を議論する	ワーク内容の説明(10分)
		各ロジックモデルの因子に対する課題の洗い出し(15分)
		課題のなぜなぜ分析し、課題を詳細化する(20分)
		各課題に対し、どのような施策が打てるかディスカッションする(15分)
~16:15		休憩(5分)
16:15~16:35	課題から考えられる施策を共有する	グループ発表(20分) ※各グループ3分×5グループ
16:35~17:00	クロージング	1月までの宿題事項のお願い(20分) ※質疑応答含む
		締めめの言葉(5分)

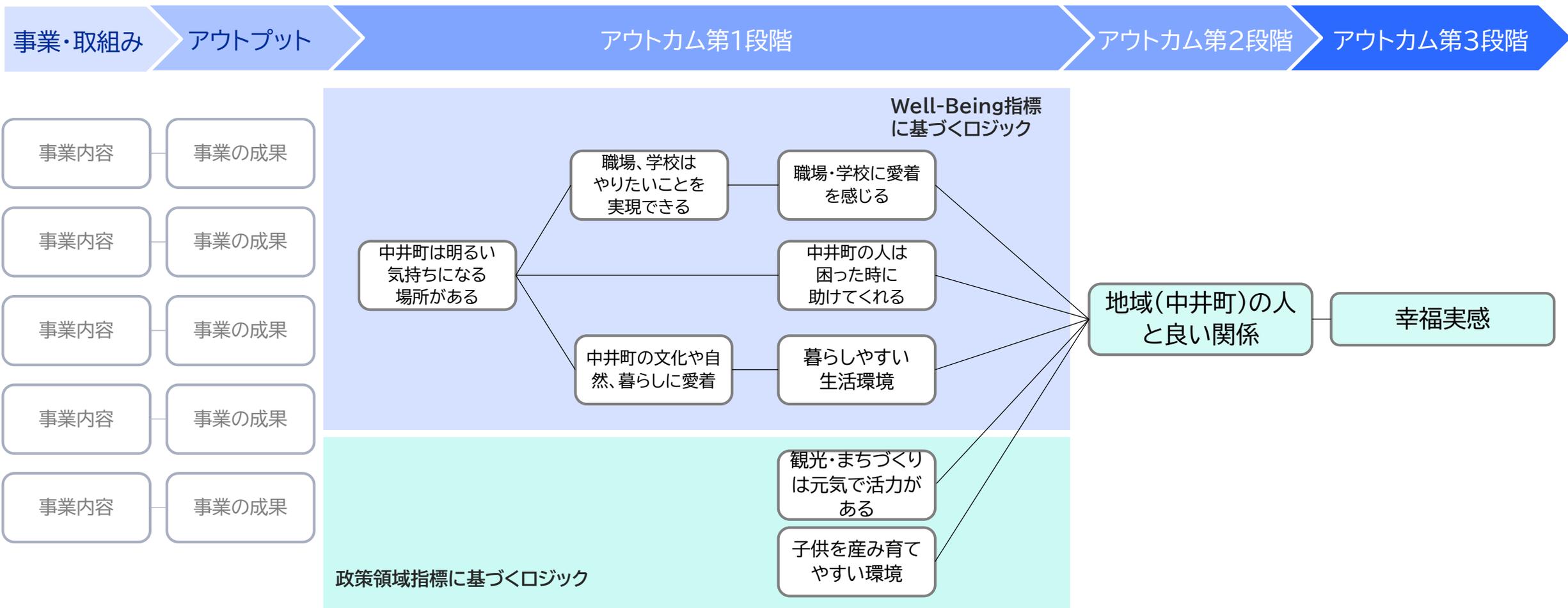
1. ロジックモデルの仮説

Point 「暮らしやすい生活環境」の実現につながるロジックモデルは以下のとおり。



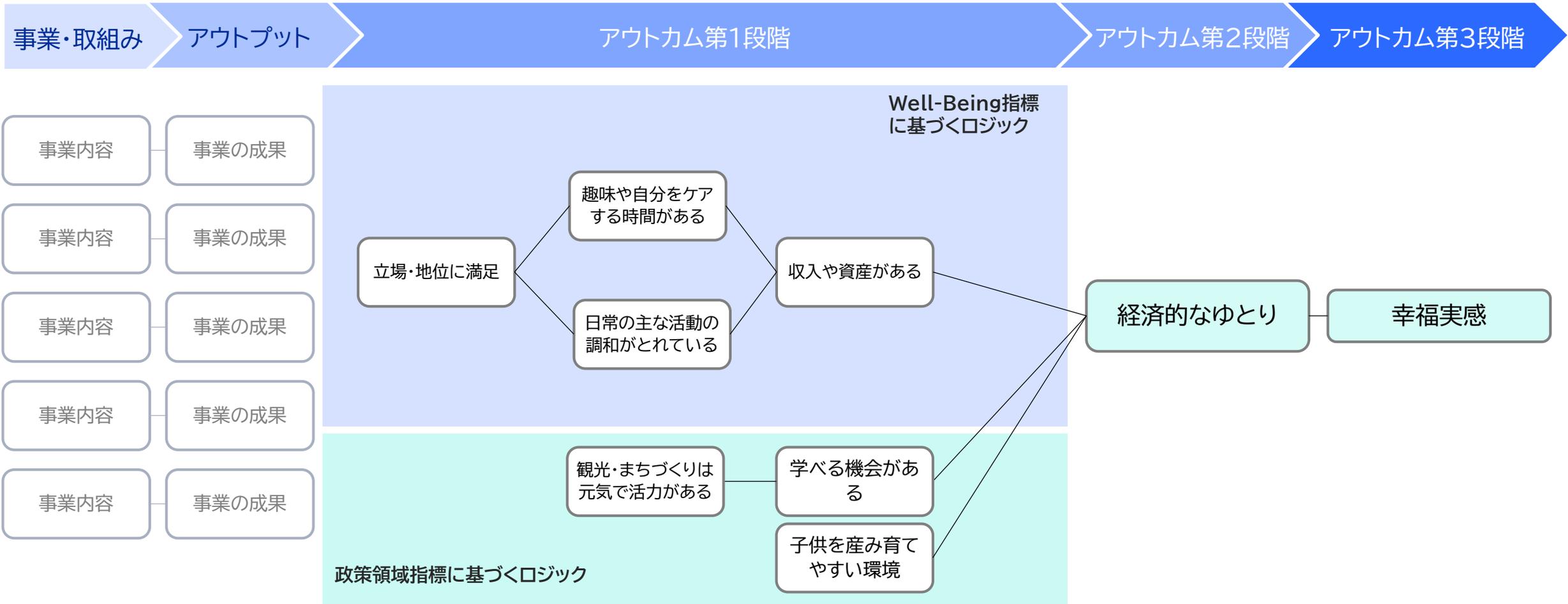
1. ロジックモデルの仮説

Point 「地域(中井町)の人と良い関係」の実現につながるロジックモデルは以下のとおり。



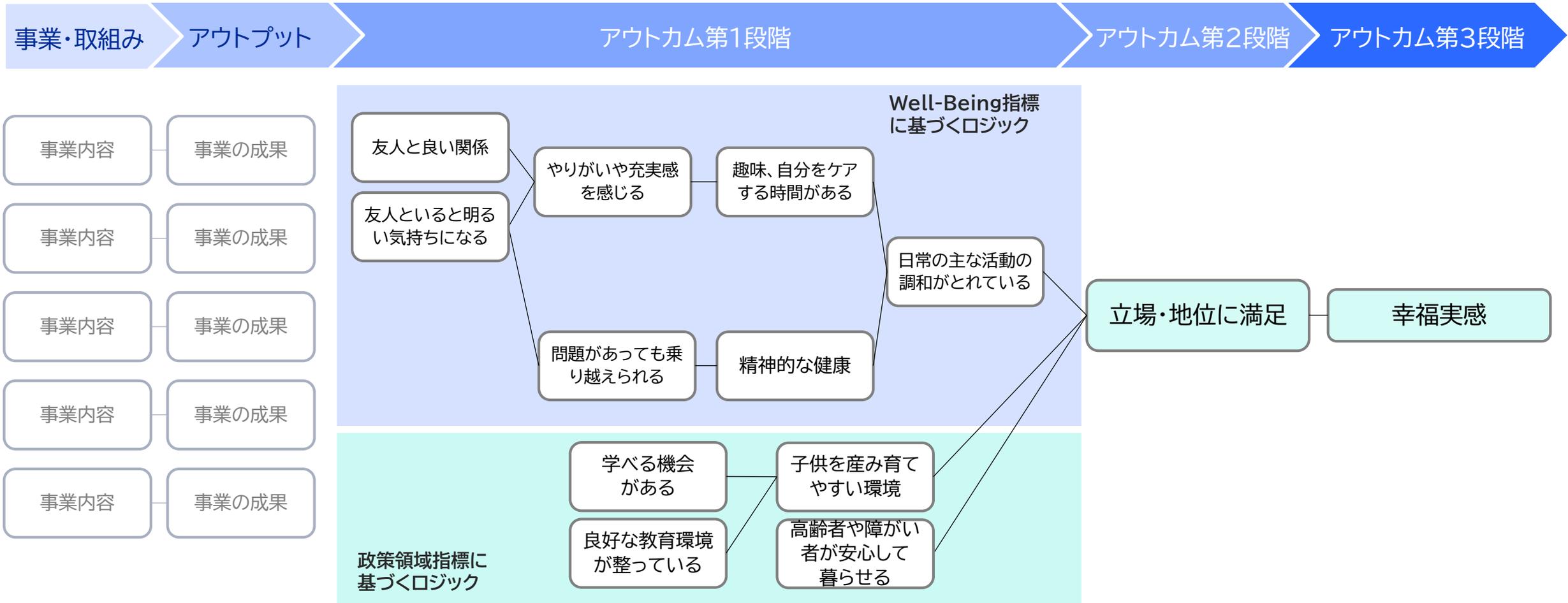
1. ロジックモデルの仮説

Point 「経済的なゆとり」の実現につながるロジックモデルは以下のとおり。



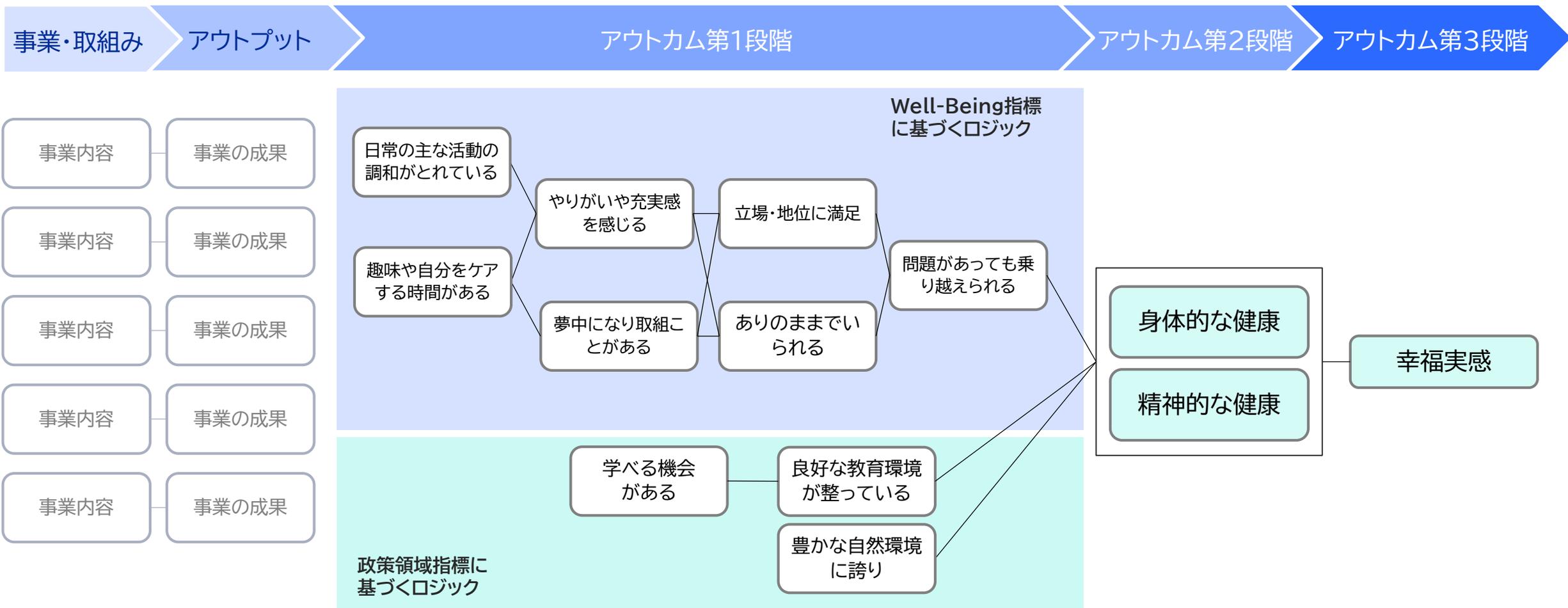
1. ロジックモデルの仮説

Point 「立場・地位に満足」の実現につながるロジックモデルは以下のとおり。



1. ロジックモデルの仮説

Point 「身体的・精神的な健康」の実現につながるロジックモデルは以下のとおり。



1. 5つの方向性と政策分野の位置づけ

Point

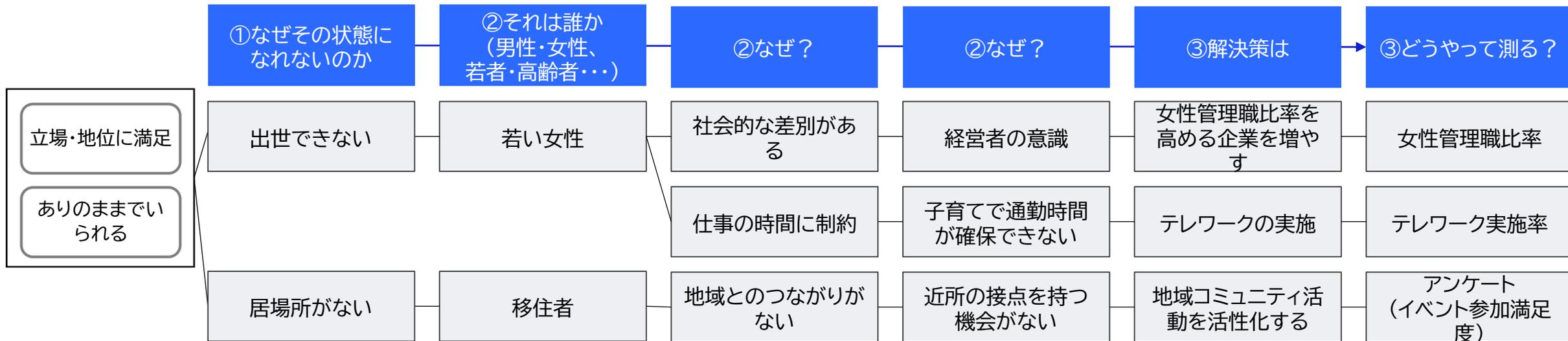
ロジックモデルを踏まえて、5つの方向性に関わる主な政策分野を設定し、関係部署を各グループに割り振って研修を実施。

グループ	重要な要素	主な政策分野	関係する部署
A	暮らしやすい生活環境	自然・環境、防災・防犯、文化	産業環境課、地域防災課、生涯学習課
B	地域(中井町)の人と良い関係	自治・連携、移住・定住、交流拠点	地域防災課、企画課、産業環境課
C	経済的なゆとり	産業・観光、まちづくり、地域公共交通	産業環境課、まち整備課、上下水道課、企画課
D	立場・地位に満足	健康・福祉、子育て、ダイバーシティ	健康課、福祉課、地域防災課
E	身体的・精神的な健康	医療、教育、生涯学習	健康課、教育課、生涯学習課
F	幸福実感向上に向けた行財政改革	行財政の効率化、DXの推進	総務課、税務町民課、会計課、議会事務局、企画課

1. ロジックモデルの要素に対する課題や解決策の導き方

Point

ロジックモデルのアウトカムの実現に繋げるための政策を検討いただくため、「なぜなぜ分析」という手法を使って、段階的に検討。



【政策立案に向けた研修の手順】

- ① 左の課題(詳細な要素)に対する、課題を複数意見出しする
- ② 複数出た課題に対して、グループで詳細な要素×2つずつ選び、それぞれ誰の課題か、なぜ×2まで検討
- ③ 検討したなぜに対して解決策(=政策)と測定の仕方を検討
- ④ これをグループで発表

グループごとの研修結果

各グループのワークシートの画像を張り付け

各グループのワークシートの画像を張り付け

各グループのワークシートの画像を張り付け

各グループのワークシートの画像を張り付け

2. 各課ヒアリングについて

Point

本日の研修で行った手法を踏まえて、各課においてヒアリングシートを作成していただく。
総合計画策定に向けて、各課における将来に向けた課題や施策の方向性について、1月にヒアリングを行う。

第七次総合計画策定に向けた各課ヒアリングの概要は以下のとおり。

実施期間 : 2025年1月23、24日(日程は後日企画課から調整)

対応者 : 各課課長及び班長

ヒアリング内容 : ヒアリングシートに基づき説明を行っていただき、企画課及びNECからの質疑対応
(課ごとに実施し、1時間程度)

事前作業の期限 : 2025年1月15日(水)までに企画課に提出

なお、ヒアリングシートは班ごとに作成

2. 各課ヒアリングに向けた作業フォーマット(記入要領)

●●課の 業務	各課各班の事務分担表に記載された業務を記入	
課の方向性/ビジョン (10年後)	第6次総合計画に位置づけられた各課の政策を踏まえ、町民意見やロジックモデルで示したウェルビーイング指標、アンケート結果から、各課として10年後にどのような状態になっていることを目指すのか記入	
主な政策分野	各課各班の政策分野を記入	
関係する指標	5つの方向性のうち、各課の方向性/ビジョンに該当するロジックモデル名と該当する指標を記入	<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 関係する指標以下の内容は、3郡以上、作成してください。各記入欄のサイズは変更していただいても構いません(必要に応じてページをコピーして作成してください)。 ➢ 関係する指標は、同一の項目を設定しても構いません。 ➢ 各課の政策とロジックモデルは別紙のとおりです。関係する指標に、ロジックモデルのグループ(アルファベット)と指標を記入してください。 ➢ 施策は、新たな施策の他に現在実施している事業が適切と考える場合は、現在実施している/予定しているものでも構いません。記入する施策が、新たな施策の場合は(新)、現在実施中の場合は(現)、今後実施が予定されている場合は(現予)と冒頭に記入してください。 ➢ 施策の説明について、現在実施中又は予定している場合は概要が分かる資料を準備してください。また、新たな施策の場合も1枚程度の概要資料の作成をお願いします(形式は問いません)。 ➢ また、新たな施策の場合、実施の実現性が難しい内容でも構いません。ただし、その場合はどういった点が難しいか付記してください。 ➢ 施策に記載いただいた内容は、今後、第七次総合計画の基本計画に記載する施策とする可能性があります。なお、基本計画の策定に際しては事前に各課に協議を行います。 ➢ KPIは、施策の評価に限った観点ではなく、関係する指標に貢献するものである必要があります。その点を考慮して、設定してください。また、可能であれば想定するKPIの目標値(10年後)を設定してください。
現在の課題	上記指標に対して、現在どのような課題が存在するか記入	
将来起こりうる課題	上記の現在の課題に対して何もしない場合、どのような課題が将来起こりうるか記入	
課題の要因	現在・将来の課題に対して、何が要因となっているか記入	
施策	課題の要因に対してどのような施策が必要か記入	
KPI	上記施策の成果を測定するための定量的な指標(KPI)を記入	

NEC

\Orchestrating a brighter world